

谷山初七郎宛書簡類目録

2024年1月

国立国会図書館憲政資料室

目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています

国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料（憲政資料室）」

(<https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/kensei/>)

凡例

- ・ 配列は作成者の五十音順とし、谷山初七郎宛て以外の書簡を末尾に配列した。
- ・ 作成者・宛先・年月日は書簡の表記どおりに記載し、姓名及び肩書は()で補記したほか、書誌事項のうち推定したものには〔 〕を付した。

谷山初七郎宛書簡類

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
1	上田万年書簡 谷山初七郎宛	上田万年(東京外国語学校)	谷山初七郎	6月22日	数量 1通 内容 高木正次の件は来二十八日午前九時に取斗いたい 記述法 墨書 用紙 東京外国語学校用箋
2	〔年賀状〕	小野□□	谷山初七郎	〔大正6年1月1日〕	数量 1通 内容 新年の御慶 記述法 墨書 用紙 葉書
3	樺山愛輔書簡 谷山初七郎宛	樺山愛輔	谷山初七郎	大正11年2月16日	数量 1通 内容 亡父葬儀の会葬御礼 記述法 印刷
4	樺山資紀書簡 谷山初七郎宛	樺山資紀	谷山初七郎	大正9年12月25日	数量 1通 内容 昨年大患以来御厚情を賜り感謝。大磯にて摂生に努め健康を恢復。年末の御挨拶 記述法 印刷
5	川上武彦書簡 谷山初七郎宛	川上武彦	谷山初七郎	〔明治32年〕4月17日	数量 1通 内容 小生来二十八日頃より閑暇になる筈、其頃拝趨仕る 記述法 墨書 用紙 葉書
6	菊池寿人書簡 谷山初七郎宛	菊池寿人	谷山初七郎	11月27日	数量 1通 内容 大学艇庫対岸の地所の件、只今電話にて申し来る。如何致すか 記述法 墨書 備考 書簡本体の日付・署名は「16日 狩野」
7	黒木典雄書簡 谷山初七郎宛	黒木典雄	谷山初七郎	〔大正13年〕8月29日	数量 1通 内容 来る三十一日は亡父一年祭。午後より自宅に於て祭祀執行、御参列下されたい 記述法 墨書
8	近衛文麿書簡 谷山初七郎宛	近衛文麿	谷山初七郎	〔大正9年3月9日〕	数量 1通 内容 遺産相続の件、分配される七名が一旦放棄し、全部が小生の所有に帰して始めて御希望の点につき相談。旧主家の為の趣、期待に背く事はしない腹 記述法 墨書
9	島津久英書簡 谷山初七郎・熊男宛	島津久英	谷山初七郎・熊男	大正12年10月31日	数量 1通 内容 結構なる品物(馬の置物)御贈与下さり御礼 付属資料 島津忠重(島津奨学資金総裁)囑託状(大正12年7月14日付)、1通 記述法 墨書

谷山初七郎宛書簡類

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
10	島津久英書簡 谷山初七郎宛	島津久英	谷山初七郎	昭和2年1月17日	数量 1通 内容 昨年は御懇情を蒙り感謝。養父使用せし紫檀机一脚御送付 記述法 墨書
11	杉村陽太郎書簡 谷山初七郎宛	杉村陽太郎	谷山先生(谷山初七郎)	23日	数量 1通 内容 御招待の儀、光栄にて感謝候も、公私の用務多端を極め残念ながら辞退 記述法 墨書
12	鶴見祐輔書簡 谷山初七郎宛	鶴見祐輔	谷山先生(谷山初七郎)	大正2年8月17日	数量 1通 内容 先般露国出張中にて去る八日帰国。愚弟憲今年一高試験不合格、点数を御調べ下されたい 記述法 墨書
13	鶴見祐輔書簡 谷山初七郎宛	鶴見祐輔	谷山先生(谷山初七郎)	大正2年9月20日	数量 1通 内容 御調べ賜り、御報に接し諸事明白となり当人も力を得る。後年の成功を期す 記述法 墨書
14	〔書簡・領収証綴〕	東郷吉太郎	谷山初七郎	大正15年5月19日	数量 1綴(2枚) 内容 (1)山口兵吉書簡 東郷宛(谷山氏よりの寄附金受領。松木弘庵の庵の字については如何なる史料に拠るものか)／(2)領収証(井上良吉(高杉公建碑実行委員、谷山初七郎宛)) 記述法 墨書 用紙 磯島津家尚古集成館用箋ほか
15	東郷平八郎書簡 谷山初七郎宛	東郷平八郎	谷山初七郎	大正2年12月7日	数量 1通 内容 過般手術の節は御見舞を忝つし感謝。今七日に退院 記述法 印刷
16	床次徳二書簡 谷山初七郎宛	床次徳二	谷山先生(谷山初七郎)	〔大正15年〕5月10日	数量 1通 内容 小生社会局に就任につき種々御高配に浴し感謝 記述法 墨書
17	新渡戸稲造書簡 谷山初七郎宛	新渡戸(新渡戸稲造)	谷山教授(谷山初七郎)	(1)(2)5月29日	数量 2通 内容 (1)倫理講話の義、小生留守中は貴兄を煩わしたい／(2)教頭の義、小嶋先生は容易に受けらるる容子無し、菊池・斎藤・菅氏は如何なる思召か堀氏とも協議 記述法 墨書 備考 書簡2通を同封
18	平塚信三書簡 谷山初七郎宛	平塚信三	谷山初七郎	〔大正12年〕2月22日	数量 1通 内容 今度済南帝国総領事館に勤務、参館の上御挨拶したい処、公私多忙 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
19	広田弘毅書簡 谷山初七郎宛	広田弘毅(法科大学政治科第二回生)	谷山初七郎	明治35年10月12日	数量 1通 内容 先生近頃岩倉家給費生を御選択中とのこと、自分が御推薦に当れば只蹇々として報いる所あらん 記述法 墨書
20	広田弘毅書簡 谷山初七郎宛	広田弘毅(外務省書記官)	谷山初七郎(第一高等学校教授)	大正4年6月15日	数量 1通 内容 志望者を募り支那方面へ修学旅行御計画の件、当省大臣より関係公館へ便宜供与方取計うよう訓令 記述法 墨書 用紙 外務省用箋
21	細川護立書簡 谷山初七郎宛	細川護立(財団法人日華学会会長)	谷山初七郎	大正12年6月1日	数量 1通 内容 来二十四日を以て御任期満了なるも重ねて本会評議員に推薦 記述法 墨書 用紙 日華学会用箋
22	牧野伸顕書簡 谷山初七郎宛	牧野伸顕	谷山初七郎	〔明治41年〕6月3日	数量 1通 内容 第二回重野博士講話会催す。御出席下されたい。 記述法 印刷
23	牧野伸顕書簡 谷山初七郎宛	牧野伸顕	谷山初七郎	〔大正2年2月6日〕	数量 1通 内容 東郷大将へ御用向の旨 記述法 墨書
24	牧野伸顕・みね子書簡 谷山初七郎宛	みね子(牧野峰子)	谷山初七郎	5月	数量 1通 内容 御親切のほど御礼、昨日仰伝えの義、牧野へ申聞くほか 記述法 墨書 備考 封筒の差出人名は牧野伸顕
25	箕浦勝人書簡 谷山初七郎宛	箕浦勝人(保証人)	谷山舎監(谷山初七郎)	1月19日	数量 1通 内容 御校一年生小野喜作の件、保証人方より通学のため退舎 記述法 墨書
26	樺山資英書簡 谷山氏退隠記念会宛	樺山資英	谷山氏退隠記念会	大正15年2月7日	数量 1通 内容 谷山氏記念品につき金五円小切手封入、然るべく取計らい願う 記述法 墨書
27	島津久英書簡 谷山先生退隠記念会宛	島津久英	谷山先生退隠記念会事務所	〔大正15年〕2月12日	数量 1通 内容 谷山先生退隠につき記念品御贈呈の由、為替券にて御送附 記述法 ペン 備考 封筒の宛名は加治木武助
28	〔空封筒〕	加藤	谷山先生(谷山初七郎)		数量 1点 記述法 墨書 備考 表に「進呈 見本」